E２ 本日の試合結果一覧

開催日 **2023/12/03**

2023-24 V.LEAGUE DIVISION1 MEN

試合番号	165	試合会場	北海きたえーる（北海道立総合体育センター）	観客数	1,297
開始時間	19:00	終了時間	21:43	試合時間	02:43
主審	正岡　卓	副審	明井　寿枝		

ヴォレアス北海道	通算	2 勝 12 敗 ポイント： 6				VC長野トライデンツ	通算	1 勝 13 敗 ポイント： 5
			27	第１セット	25			
			26	第２セット	28			
		2	25	第３セット	22	3		
			28	第４セット	30			
			11	第５セット	15			

監督コメント（ヴォレアス北海道）

今日は昨日よりさらに激しい戦いでした。この２チームが現在V1の下位２チームですが、どちらも勝ちたいという気持ちを強く持っていました。実際、昨日よりも良いプレーができましたが、VC長野さんも良かったです。今日起用した選手は全員力強いパフォーマンスを見せてくれました。今後に向けてサーブを改善し、より多くのブレイクポイントを獲得する方法を見つける必要があります。
対戦相手の勝利を祝福します、おめでとうございます。そして今日の力強いサポートをしてくれたすべてのファンの皆様に感謝を伝えたいです。皆様が試合を楽しんでくださったことを願っています。

監督コメント（VC長野トライデンツ）

昨日同様、ヴォレアス北海道さんのサーブで少しのズレがあり、リズムを作ることが厳しかったです。そんな中、選手一人ひとりが最後まで集中力を持ち、戦い抜いてくれました。本日の一勝がチームの勢いがさらなる力になることと思っています。
本日もたくさんのご声援ありがとうございました。今後ともVC長野をよろしくお願いします。

要約レポート

ホームで連勝を重ねたいヴォレアス北海道とVC長野トライデンツの一戦。
第１セット、序盤からヴォレアス張、戸田が得点を重ねリードする。中盤、VC長野が追いつき、その後は接戦を繰り広げデュースにまでもつれ込むが、ヴォレアスが井上のブロックでセットを先取した。
第２セット、両チームともにブレイクを繰り返し一進一退の攻防。終盤、ヴォレアスはチャレンジが成功し、またもデュースになるがVC長野はリリーフサーバー糸山のサービスエースでセットを奪い返した。
第３セットはサイドアウトの連続となり、タイムアウトやメンバーチェンジを多用しお互いに流れを相手に与えないようなゲーム展開であったが、ヴォレアスが終盤の連続得点で点差をつけたままセットを奪取した。
第４セットも終盤まで両チーム一歩も引かない展開となり、デュースを重ね30－28でVC長野がセットを取り返し、このカードはＶ・チャレンジマッチを含め、４試合連続でフルセットとなった。
最終セット、接戦だったが終始VC長野がリードした展開となった。終盤には波佐間がノータッチエースを決め、そのまま逆転を許すことなくVC長野が今シーズン初勝利を飾った。

試合番号	166	試合会場	日本製鉄堺体育館	観客数	1,645
開始時間	13:00	終了時間	15:25	試合時間	02:25
主審	高橋　宏明	副審	沢田　元		

日本製鉄堺ブレイザーズ	通算	8 勝 6 敗 ポイント： 23				東京グレートベアーズ	通算	5 勝 9 敗 ポイント： 18
			22	第１セット	25			
			31	第２セット	29			
		3	25	第３セット	21	1		
			29	第４セット	27			
				第５セット				

監督コメント（日本製鉄堺ブレイザーズ）

昨日に引き続き非常に難しい戦いでしたが、選手たちが最後まで力を振り絞って戦ってくれた結果、勝利できたと思います。
天皇杯を挟んでまた年内もリーグ戦がありますので、引き続きチーム一丸となって戦います。
本日も熱い応援、ありがとうございました。
ホームの大声援の後押しが今週の２勝の大きな力となりました。また引き続き応援、宜しくお願いします。

監督コメント（東京グレートベアーズ）

良い雰囲気の会場で本日も試合ができたことを嬉しく思います。
昨日に続いて難しいゲームになりましたが、重要な場面での戦いでは、対戦相手の日本製鉄堺ブレイザーズが少し上回っていました。それでも私たちのオフェンスとサーブの効果が昨日より上がってきていましたので、今後も成長していけるチームだと思います。
リーグは今後も長いのでさらに成長をできるように頑張りたいと思います。

要約レポート

フルセットの激闘を繰り広げた前日に続き、日本製鉄堺ブレイザーズがホームに東京GBを迎えての２日目。
第１セット、日鉄堺BZバーノン、東京GBアラウージョの打ち合いで中盤まで一進一退の攻防が続く、ここで抜け出したのは東京GB小田嶋のサーブで相手を乱し、柳田のコースを狙ったアタックが決まりこのセットを先取する。
第２セットも両チーム一歩も譲らない展開で試合が進む。日鉄堺BZはバーノン、東京GBは柳田、アラウージョの打ち合いでデュースにもつれ込む。最後は東京GB戸嵜のアタックを日鉄堺BZ渡邉がブロックで止め、31―29の大接戦で日鉄堺BZがセットを取り返す。
第３セット、中盤東京GBにミスが目立ち日鉄堺BZが優位に試合を進める。渡邉の速攻、鵜野のブロックが要所で決まり、日鉄堺BZが連続でセットを奪う。
第４セット、東京GBは序盤に戸嵜のブロック、アラウージョのアタックが連続で決まり、終始リードする展開で試合を進める。対する日鉄堺BZはバーノンにボールを集めて点差を詰め、渡邉のサービスエースで23―23に追いつき、デュースとなる緊迫した状況のなか、最後は日鉄堺BZバーノンのサービスエースで、大接戦ホームゲームを連勝で終えた。

試合番号	167	試合会場	維新大晃アリーナ（山口県スポーツ文化センター）	観客数	1,579
開始時間	13:00	終了時間	15:37	試合時間	02:37
主審	弘中　秀治	副審	中山　健		

JTサンダーズ広島	通算	12 勝 2 敗 ポイント： 33				ウルフドッグス名古屋	通算	9 勝 5 敗 ポイント： 28
			18	第１セット	25			
			30	第２セット	32			
		3	25	第３セット	22	2		
			25	第４セット	19			
			15	第５セット	5			

監督コメント（JTサンダーズ広島）

０－２と追い込まれた状況から逆転勝利し、２連勝を飾れたことは非常に大きい。
来週の天皇杯に向けて良い準備を行いたい。
山口会場へお越し頂いたファンの皆様ご声援ありがとうございました。

監督コメント（ウルフドッグス名古屋）

この２日間、我々ウルフドッグス名古屋を応援して頂いたファンの皆様、本当にありがとうございました。昨日に引き続いて、本日の試合も非常にタフな試合となりました。アウェーの中でも我々と共にいてくれたファンの皆様がいることで最後まで戦えたと思います。
天皇杯前の
Ｖリーグの試合はここで一旦期間が空くことになりますが、天皇杯の直後のＶリーグにおいてもチーム全員で闘い、一人ひとりが成長できるように頑張りたいと思います。その試合は豊田合成記念体育館“エントリオ”でのホームゲームとなります。新しいメンバーと一緒に皆様とお会いすることを心待ちにしております。Enjoy the competition!

要約レポート

第１セット、序盤から主導権を掴んだウルフドッグス名古屋は連続得点を重ね、徐々に点差を広げる。更にクレクのサーブで突き放すもJTサンダーズ広島も相手のミスからラッセルのブロックで点差を縮める。しかし、そのまま逃げ切ったWD名古屋がセットを先取した。
第２セット、競り合う展開から抜け出したのはＷＤ名古屋。高梨のスパイクで点差を広げた。JT広島も粘りの守備から三輪のクイックで追いつく。終盤までサイドアウトの応酬となり先にセットポイントを握ったJT広島だったが、デュースからラッセルのバックアタックがアウトとなり、WD名古屋・王の豪快なブロックが決まり、32－30でセットを連取した。
第３セット、WD名古屋はクレクを欠くスターティングメンバーとなる。JT広島・坂下がスターティングメンバーに入り、ラッセルの活躍等で中盤に一歩抜け出し、そのまま逃げ切りセットを取り返した。
第４セット、JT広島は勢いそのままに、序盤から得点を重ねる。WD名古屋は、高梨、山崎の攻撃で応戦するも、JT広島・川口のブロックで突き放し、勝負は最終セットに持ち込まれる。
第５セット、JT広島は江、ラッセルの活躍により、序盤から大きくリードを広げる。WD名古屋は２回のタイムアウトを使うも流れは変わらない。更にリードを大きく広げたJT広島が、前田のサービスエースにより２連勝で山口大会を制した。

試合番号	168	試合会場	鳴門・大塚スポーツパーク アミノバリューホール（徳島県鳴門総合運動公園体育館）	観客数	1,297
開始時間	13:00	終了時間	15:19	試合時間	02:19
主審	澤　達大	副審	岡田　崇		

ジェイテクトSTINGS	通算	5 勝 7 敗 ポイント： 15				東レアローズ	通算	4 勝 10 敗 ポイント： 11
			25	第１セット	23			
			23	第２セット	25			
		3	25	第３セット	23	1		
			25	第４セット	15			
				第５セット				

監督コメント（ジェイテクトSTINGS）

今週２連勝できたことはうれしいですし、練習でしてきたことの成果だったと思います。
本日もたくさんの応援ありがとうございます。来週から天皇杯が始まりますので、引き続き応援よろしくお願いします。

監督コメント（東レアローズ）

今日の試合は、第１セットから第３セットまでは、非常にタフなゲームとなりました。
昨日の敗戦から、粘り強さを出すことはできましたが、失点が多く出てしまい、自分たちから崩れてしまったところもあるので、修正していかなければいけないと思います。
来週から天皇杯がありますので、もう一度準備をして臨んでまいります。
本日はたくさんの応援ありがとうございました。

要約レポート

徳島ホームゲーム２連勝を目指すジェイテクトSTINGSと昨日の雪辱を晴らしたい東レアローズの一戦。
第１セット、序盤から両者一歩も引かない展開が続いた。セット終盤、ジェイテクトはウルナウトのバックアタックを中心に攻撃を重ね、25―23でセットを競り勝った。
東レの３連続得点で始まった第２セット、その後ジェイテクトも４連続得点をするなど、手に汗握る展開となった。パダルのバックアタックで試合の主導権を握った東レが25―23で第２セットを奪い返した。
第３セット、序盤はジェイテクトがリードする展開だったが、中盤では東レが６連続得点するなど、流れが一気に東レに傾いた。しかし、途中交代の都築のスパイクで流れを引き返し、最後は佐藤のスパイクで徳島ホームゲーム２連勝へ王手をかけた。
第４セット、ジェイテクトがブロックでの得点を重ね、優位に試合を進めた。最後はウルナウトのサービスエース、バックアタックで試合を決め、セットカウント３－１でホーム徳島での２連勝を果たし、来年へと弾みをつけた。

※本票の著作権は、一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。